

中学受験

(演習用)

実戦的解法による

分野別算数 1000

ファイル No. 136

10-W 不等式・

不定方程式

中受ゼミ G

1

40 円の品物 A と 50 円の品物 B と 80 円の品物 C と 90 円の品物 D があります。

- (1) 品物 B と品物 C をそれぞれいくつか合わせてちょうど 4000 円分買う場合 通りの買い方があります。ただし、どちらの品物も 1 個以上買います。
- (2) 品物 A と品物 C を同じ個数、品物 B と品物 D を同じ個数買います。品物 B と品物 C で 4000 円以内、品物 A と品物 D で 3600 円以内となるように買うことにします。このとき、品物 B と品物 C を合わせた個数が最も多くなるのは、品物 A と品物 C を 個ずつ、品物 B と品物 D を 個ずつ買う場合です。

2

最初の料金が640円で、以後、距離に比例して料金が60円ずつ上がっていくタクシーがあります。A、B、C、Dの4人がタクシーに乗り、異なる場所でこの順に降りていきます。最初に降りる人は、そのときのメーターの料金を人数で割った金額を支払います。以後、降りる人は、その間に増えた料金を乗っていた人数で割り、前に降りた人の金額に加えて支払うことにします。

- (1) 最初にAが250円支払って降りました。最後にDが降りるときにはメーターの料金は3100円でした。CはBよりも、そして、DはCよりもそれぞれ420円ずつ多く支払いました。Bの支払った金額を求めなさい。
- (2) 次の日も4人が同じ道をタクシーに乗り、AとDは前日と同じ場所で降りました。BとCは前日とは異なる場所で降りたので、DはAよりも810円多く支払いました。Bが支払ったと考えられる金額をすべて求めなさい。